

(学年) 1年次、(教科・科目) 情報・情報 I

一斉学習

(単元) コミュニケーションと情報デザイン

(本時のねらい)

検索エンジンを活用することで豊富な情報が簡単に入手することができ、生徒にとってもその操作は容易である。この単元は、必要な情報を適切に収集・加工し、目的に沿った情報を視覚的に伝達できる基本的な表現方法を理解し、実習を通して身に付けることをねらいとしている。また、学習活動を自ら進んで行っているか、他者からの評価を受けて改善を図ろうとしているかなど、主体的に学習に取り組む態度も育成していくつもりである。

(ICT活用方法)

ICTの活用の差により、ICT活用能力の差は大きくなると思う。日本語入力やマウス操作のクリックやドラッグから指導しなければならない生徒も混在する。そのため、文書作成ソフトや表計算ソフトなどの基本的な操作方法を事前に理解させておく必要がある。情報をわかりやすく伝達するための表現とその工夫については、収集したデータをただ単に貼り付けるだけでなく、データの分類や配列をもとに表形式にレイアウトしたり、フリーのイラストなどを利用して、視覚的効果があるように工夫した見本を参考に作成に取りかかる。実習は、身近で簡単な題材であるため、ICTの利用について、積極的に取り組むことができた。また、教師がすべて指導しなくても自らの力で操作方法を習得していた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・前時の活動状況を振り返り、収集したデータの確認をする。	・収集したデータが課題解決に必要なか、再確認させる。	・前時の授業で収集して作成したデータファイルを開かせる。
展開 30分	・課題作成に必要な情報の検索・収集を行う。 ・収集データを利用して、A4サイズの計画表にまとめる。 ・作成した計画表をプリントアウトし、相互評	・計画表の作成時において、写真やイラストなど著作権について理解させる。 ・わかりにくい例を示し、見やすさを意識したレイアウトを考えさせる。 ・他者の作成した計画表の良いところ・良	・検索エンジンを利用した検索操作と、必要なデータのコピー&ペーストを行わせる。 ・目的に沿った情報を視覚化し、配色を考えたりして、誰が見ても見やすい表現にさせる。 ・学習活動を自ら進んで行い、他者からの評価

	価する。	くないところを確認させる。	(感想)を受けて、改善を図ろうとしている。
まとめ 5分	・自己評価を行う。		

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

教材は、旅行行程だけでなく、周辺のグルメやお土産などの情報も追加させることで、単に調べるだけでなく、楽しく創造させる授業になるように工夫した。作業は、情報検索から得られた画像やメッセージを見て楽しむ時間が多くなり、作業よりも、仲間との対話はずみ、学びながら楽しく実習することができたと感じる。情報デザインの効果は机上で学ぶことは大変難しいものであり、生徒自身が様々な加工をし、互いの作品を多く見比べることで、「情報デザイン」の違いに気付くことができたと思う。同時に著作権等の法的な利用についても、しっかりと理解させながら、今後の授業につなげていきたいと考えている。